対馬市告示第22号

令和6年第1回対馬市議会定例会を次のとおり招集する

令和6年2月22日

対馬市長 比田勝尚喜

1 期 日 令和6年3月7日(木)

2 場 所 対馬市議会議場

○開会日に応招した議員

糸瀬 雅之君	陶山荘太郎君
神宮 保夫君	島居 真吾君
坂本 充弘君	伊原 徹君
入江 有紀君	船越 洋一君
脇本 啓喜君	小島 徳重君
黒田 昭雄君	波田 政和君
小宮 教義君	上野洋次郎君
大浦 孝司君	作元 義文君
春田 新一君	初村 久藏君

○3月8日に応招した議員

糸瀬 雅之君	陶山荘太郎君
神宮 保夫君	島居 真吾君
坂本 充弘君	伊原 徹君
入江 有紀君	船越 洋一君
脇本 啓喜君	小島 徳重君
黒田 昭雄君	小田 昭人君
波田 政和君	小宮 教義君
上野洋次郎君	大浦 孝司君
作元 義文君	春田 新一君
初村 久藏君	

○3月15日に応招した議員

糸瀬 雅之君	陶山荘太郎君
--------	--------

神宮 保夫君
坂本 充弘君
入江 有紀君
小島 徳重君
小田 昭人君
上野洋次郎君
作元 義文君
初村 久藏君

島居 真吾君
伊原 徹君
船越 洋一君
黒田 昭雄君
小宮 教義君
大浦 孝司君
春田 新一君

○3月18日に応招した議員

陶山荘太郎君
島居 真吾君
伊原 徹君
船越 洋一君
小島 徳重君
小田 昭人君
小宮 教義君
大浦 孝司君
春田 新一君

神宮 保夫君
坂本 充弘君
入江 有紀君
脇本 啓喜君
黒田 昭雄君
波田 政和君
上野洋次郎君
作元 義文君
初村 久藏君

○3月19日に応招した議員

糸瀬 雅之君
神宮 保夫君
伊原 徹君
船越 洋一君
小島 徳重君
小田 昭人君
小宮 教義君
大浦 孝司君
春田 新一君

陶山荘太郎君
坂本 充弘君
入江 有紀君
脇本 啓喜君
黒田 昭雄君
波田 政和君
上野洋次郎君
作元 義文君
初村 久藏君

○3月27日に応招した議員

糸瀬 雅之君
神宮 保夫君
坂本 充弘君
入江 有紀君
脇本 啓喜君
黒田 昭雄君
波田 政和君
上野洋次郎君
作元 義文君
初村 久藏君

陶山荘太郎君
島居 真吾君
伊原 徹君
船越 洋一君
小島 徳重君
小田 昭人君
小宮 教義君
大浦 孝司君
春田 新一君

○3月7日に応招しなかった議員

小田 昭人君

○3月15日に応招しなかった議員

脇本 啓喜君

波田 政和君

○3月18日に応招しなかった議員

糸瀬 雅之君

○3月19日に応招しなかった議員

島居 真吾君

令和6年 第1回 対馬市議会定例会会議録(第1日)

令和6年3月7日(木曜日)

議事日程(第1号)

令和6年3月7日 午前10時00分開会

- 日程第1 会議録署名議員の指名
- 日程第2 会期の決定
- 日程第3 議長の諸般報告
- 日程第4 市長の行政報告
- 日程第5 総務文教常任委員会の閉会中の所管事務調査報告
- 日程第6 厚生常任委員会の閉会中の所管事務調査報告
- 日程第7 産業建設常任委員会の閉会中の所管事務調査報告
- 日程第8 長崎県病院企業団議会議員の報告
- 日程第9 長崎県後期高齢者医療広域連合議会議員の報告
- 日程第10 発議第6号 入江有紀君に対する懲罰動議
- 日程第11 承認第1号 専決処分の承認を求めることについて(令和5年度対馬市一般会計補正予算(第7号))
- 日程第12 議案第2号 令和5年度対馬市一般会計補正予算(第8号)
- 日程第13 議案第3号 令和5年度対馬市診療所特別会計補正予算(第3号)
- 日程第14 議案第4号 令和5年度対馬市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
- 日程第15 議案第5号 令和5年度対馬市集落排水処理施設特別会計補正予算(第1号)
- 日程第16 議案第6号 令和5年度対馬市水道事業会計補正予算(第2号)
- 日程第17 市長の施政方針説明
- 日程第18 議案第7号 令和6年度対馬市一般会計予算

本日の会議に付した事件

- 日程第1 会議録署名議員の指名
- 日程第2 会期の決定
- 日程第3 議長の諸般報告

- 日程第4 市長の行政報告
- 日程第5 総務文教常任委員会の閉会中の所管事務調査報告
- 日程第6 厚生常任委員会の閉会中の所管事務調査報告
- 日程第7 産業建設常任委員会の閉会中の所管事務調査報告
- 日程第8 長崎県病院企業団議会議員の報告
- 日程第9 長崎県後期高齢者医療広域連合議会議員の報告
- 日程第10 発議第6号 入江有紀君に対する懲罰動議
- 日程第11 承認第1号 専決処分の承認を求めることについて（令和5年度対馬市一般会計補正予算（第7号））
- 日程第12 議案第2号 令和5年度対馬市一般会計補正予算（第8号）
- 日程第13 議案第3号 令和5年度対馬市診療所特別会計補正予算（第3号）
- 日程第14 議案第4号 令和5年度対馬市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
- 日程第15 議案第5号 令和5年度対馬市集落排水処理施設特別会計補正予算（第1号）
- 日程第16 議案第6号 令和5年度対馬市水道事業会計補正予算（第2号）
- 日程第17 市長の施政方針説明
- 日程第18 議案第7号 令和6年度対馬市一般会計予算

出席議員（18名）

1番 糸瀬 雅之君	2番 陶山荘太郎君
3番 神宮 保夫君	4番 島居 真吾君
5番 坂本 充弘君	6番 伊原 徹君
7番 入江 有紀君	8番 船越 洋一君
9番 脇本 啓喜君	10番 小島 徳重君
11番 黒田 昭雄君	13番 波田 政和君
14番 小宮 教義君	15番 上野洋次郎君
16番 大浦 孝司君	17番 作元 義文君
18番 春田 新一君	19番 初村 久藏君

欠席議員（1名）

- 12番 小田 昭人君

欠 員 (なし)

事務局出席職員職氏名

局長	國分 幸和君	次長	平間 博文君
課長補佐	糸瀬 博隆君	係長	犬束 興樹君

説明のため出席した者の職氏名

市長	比田勝尚喜君
副市長	俵 輝孝君
教育長	中島 清志君
総務部長	木寺 裕也君
総務課長 (選挙管理委員会事務局書記長)	一宮 努君
しまづくり推進部長	伊賀 敏治君
観光交流商工部長	阿比留忠明君
市民生活部長	村井 英哉君
福祉部長	田中 光幸君
保健部長	桐谷 和孝君
農林水産部長	黒岩 慶有君
建設部長	内山 歩君
水道局長	舍利倉政司君
教育部長	扇 博祝君
中対馬振興部長	原田 武茂君
上対馬振興部長	原田 勝彦君
美津島行政サービスセンター所長	藤田 浩徳君
峰行政サービスセンター所長	居村 雅昭君
上県行政サービスセンター所長	田村 竜一君
消防長	主藤 庄司君
会計管理者	勝見 一成君
監査委員事務局長	志賀 慶二君
農業委員会事務局長	主藤 公康君

午前10時00分開会

○議長（初村 久藏君） おはようございます。

報告します。小田昭人君から遅刻の届出があっております。

ただいまから、令和6年第1回対馬市議会定例会を開会いたします。

議場の換気のため、出入口を開放して会議を運営することといたします。

去る3月3日に執行されました対馬市長選挙におきまして、比田勝尚喜君が再選されました。市長、比田勝尚喜君におかれましては、健康に十分留意され、対馬市発展のため頑張ってくださいようお願いをいたします。

定足数に達しておりますので、これから本日の会議を開きます。

日程第1. 会議録署名議員の指名

○議長（初村 久藏君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第88条の規定によって、波田政和君及び小宮教義君を指名いたします。

日程第2. 会期の決定

○議長（初村 久藏君） 日程第2、会期の決定を議題とします。

お諮りします。本定例会の会期は、配付しております会期日程案のとおり、本日から3月27日までの21日間とすることに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（初村 久藏君） 異議なしと認めます。会期は、本日から3月27日までの21日間と決定しました。

日程第3. 議長の諸般報告

○議長（初村 久藏君） 日程第3、議長の諸般報告を行います。

令和5年第4回定例会終了後以降の議長の行動等は、配付しております庶務報告書のとおりであります。

次に、議会広報編集特別委員会から、委員派遣に関する調査報告の提出があっておりますので、報告をいたします。

議会広報編集特別委員会は、福岡県須恵町を訪問し、議会だよりの作成について視察、調査研究を行っております。タブレットに掲載しておりますので、御高覧ください。

また、議長が閉会中に特別委員の辞任を認め、その後任の選任を行っております。配付してお

ります特別委員会構成表のとおり、議会広報編集特別委員に坂本充弘君、懲罰特別委員に小島徳重君を選任しております。

本年1月1日に発生いたしました能登半島地震によって、今もなお多くの人々が不自由な暮らしを余儀なくされるという深刻な事態が続いております。改めて、犠牲になられた方々に深く哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。本市議会としましても、できる限りの支援を行うため、議員から義援金を募り、総額30万円を被災地に送金しております。

以上、報告を終わります。

日程第4. 市長の行政報告

○議長（初村 久藏君） 日程第4、市長の行政報告を行います。

市長から行政報告の申出がっておりますので、これを受けます。市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 本日ここに、令和6年第1回対馬市議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様には御健勝にて御出席賜り、衷心より御礼申し上げます。

まず初めに、私ごとで恐縮でございますが、去る3月3日執行の対馬市長選挙で、多くの市民の皆様からの御信任を賜り、引き続き、市長として市政のかじ取り役を務めさせていただくことを光栄に思い、決意を新たにいたしております。

私はこの選挙期間中、島内津々浦々に足を運び、市民の皆様のご貴重な御意見を頂戴いたしました。頂戴した御意見は市政運営に反映すべく取り組んでまいりたいと考えており、また、公約に掲げた誰一人取り残さない、未来へつなぐ対馬づくりに向けて、誠心誠意尽力してまいりますので、今後とも御支援、御協力をよろしくお願いいたします。

次に、4点、御報告させていただきます。

まず、対馬市市制施行20周年についてでございます。平成16年3月1日に対馬6町が合併し、対馬市が誕生して20周年を迎えました。今回は、対馬市長選挙と時期が重なったため、記念式典を4月に開催し、令和6年度において記念事業を展開してまいりたいと思っております。

「対馬にずっと 対馬でもっと」をキャッチフレーズに、市民、皆様と市制施行20周年を祝っていきたいと考えております。

次に、対馬市立豊小学校の閉校に関してでございますが、去る3月2日に閉校式が開催されました。改めて、この統合に御理解いただきました保護者や関係者の皆様へ、心から敬意を表し、お礼を申し上げます。また、子どもたちにおいては、統合先となります比田勝小学校において、多くの友達と楽しい学校生活を送り、共にたくましく成長することを願っております。

次に、第2次住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金の二重払いについてでございますが、

対象となられた9名の皆様には大変御迷惑をおかけし、深くお詫びするとともに、返還に際して御理解を賜り誠にありがとうございました。今後は、事務作業工程の見直しを図り、システム及びデータのさらなるチェックを心がけ、このような事態が発生しないよう取り組んでまいります。

次に、令和元年8月から、全便運休となっておりました巖原釜山航路についてでございますが、改修工事を行っておりました巖原港国際ターミナルが本年2月末で完成となりましたので、現在、4月23日火曜日からの運航再開に向けて、CIQなどの関係機関と最終の詰めの協議を行っているところでございます。

現在、2社の航路事業者の就航が決定しており、それぞれ運航日は異なりますが、毎週火曜日、木曜日、金曜日の週3日、1日1往復での運航を行う予定となっております。

それでは、12月定例会以降の主な事項につきまして御報告を申し上げます。

まず、総務部からでございますけれども、令和6年1月1日に発生した地震により、石川県においては甚大な被害が発生し、避難者対応、災害復旧等に向けた取組が行われているところであります。

対馬市としては、長崎県の第5陣として、去る2月15日から2月21日にかけて、石川県庁に3名の職員を派遣し、仮設住宅建設等に関する契約等の事務業務の支援を行ったところであります。

能登半島地域では、いまだ水道などのライフラインが復旧していない地域もあり、被災者における避難生活も長期化することが予想され、復興に向けたさらなる支援が必要であると感じております。今後も、国、長崎県などと連携しながら、職員派遣など対馬市が取り組める支援を継続的に行ってまいりたいと考えております。

市民からの提言、市民との意見交換の場として、「市長へ提言 かつちえて！しまづくり」に取り組んでおりますが、去る1月30日に、対馬中部地区で組織されている対馬ほほえみ会と生活交通支援を行うことによる介護予防と子どもの文化活動の推進についての意見交換をさせていただきました。

内容としては、対馬中部地区における交通支援や子どもの文化活動に対する支援などの提言について意見交換をさせていただき、改めて地域の課題等に対して、地域ぐるみで取り組まれている実情を認識したところであります。このような地域での取組については頭の下がる思いであり、市民との意見交換、提言の場を今後も継続的に実施していきたいと考えております。

次に、しまづくり推進部の関連でございます。

SDGsの推進に向けた対馬モデルの研究開発連携協定を締結した企業の一つであるサラヤ株式会社様が、子会社としてこの対馬に株式会社ブルーオーシャン対馬を1月22日に設立いたしました。株式会社ブルーオーシャン対馬の代表取締役社長には、地元の川口幹子氏が就任し、対

馬モデルとなる本市の海洋問題の解決に関連した事業を展開していくとお聞きしております。

この対馬モデルは、2025年大阪・関西万博において、アジア太平洋諸国へ事業モデルとして発信することを目指しており、グローバル規模での海洋プラスチック問題の解決に向け取組が進められております。

対馬海ごみアート×NFTプロジェクトにつきましては、将来に向けた漂着ごみの回収財源を持続的に調達していくため、漂着ごみを素材としたアートにNFT、いわゆる偽造防止の技術を活用した作品を制作し、海洋環境保護を融合させた新たな社会課題解決モデルを構築することを目的に立ち上げております。

このプロジェクトでは、ふるさと納税を活用したクラウドファンディングにより財源を捻出し、目標金額280万円に対して寄附金額338万3,000円を確保することができました。本市のSDGs推進や漂着ごみ等の環境問題に関する取組に御賛同、御支援いただきました皆様に心から感謝を申し上げます。

また、プロジェクトの根幹である取組として、本市に流れ着く漂着物を利用したアート作品を制作し、価値あるアート作品として販売することで、漂着ごみを回収するための財源を確保する新たな社会課題解決モデルを実証しようとするものであります。今回のプロジェクトに参加していただくアーティストのしばたみなみ氏は、日本財団と環境省が実施する海ごみ対策のすぐれた取組を表彰する海ごみゼロアワードにおいて環境大臣賞を受賞されており、今回の作品制作では1か月間対馬に滞在してアートを制作していただきました。

今後はアート作品の展示・販売に取り組み、漂着ごみの回収財源の確保に向けた実証事業を展開してまいります。今後もこの事業を含め、SDGsを通じて環境・社会・経済の3側面を意識した取組を進めてまいります。

以上が行政報告でございます。

本定例会において御審議願います案件でございますが、令和5年度一般会計等補正予算案件5件、令和6年度一般会計等予算案件8件、条例の一部改正18件、財産の取得1件、人権擁護委員候補者の推薦に係る諮問2件、合わせて34件の議案について御審議をお願いするものでございます。

内容につきましては、提案の際、担当部長から説明を行いますので、慎重に御審議の上、適正なる御決定を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

以上、開会に当たっての挨拶といたします。

○議長（初村 久藏君） 以上で、報告を終わります。

日程第5. 総務文教常任委員会の閉会中の所管事務調査報告

○議長（初村 久藏君） 日程第5、総務文教常任委員会の閉会中の所管事務調査報告を行います。

総務文教常任委員長、陶山荘太郎君。

○議員（2番 陶山 荘太郎君） おはようございます。それでは総務文教常任委員会の所管事務調査報告を行います。

本委員会は、令和6年2月15日、対馬市豊玉町に建設された対馬市消防署中部支署において、対馬市消防署中部支署新庁舎の運用等及び旧庁舎跡地の利活用について所管事務調査を行いました。

当日は、消防本部から主藤消防長、井次長、松尾中部支署長に出席いただき、中部支署内の研修室において説明を受けた後、新旧庁舎の各施設を視察しました。

まず、対馬市の消防力等については、厳原町棧原に1本部と1消防署、豊玉町仁位に中部支署、上県町佐須奈に北部支署、美津島町雞知、峰町佐賀、上対馬町古里にそれぞれ出張所、厳原町豆殿に分遣所を設置し、ポンプ車8台、タンク車1台、化学車3台、計12台の消防車と救急車8台及び救助工作車2台を配備しているとのことでした。

職員数につきましては、条例定数が106名のところ、令和6年1月31日現在での実員数は89名であり、全体としては17名が未充足の状態です。また、女性職員は本部1名、本署2名、美津島出張所1名、上対馬出張所2名の6名が配置されております。中部支署の編制は、支署長のほか2個小隊8名の計9名で、対馬市消防職員の隔日勤務者の勤務時間、休日、休暇に関する規則により、3名の隔日勤務で峰出張所と連携しつつ、消防業務を行っているとの説明を受けました。

また、令和3年から5年までの出動回数は、火災出動は令和3年が17件、令和4年が16件、令和5年が9件と減少傾向にあるものの、救急出動については、コロナ患者・熱中症患者及び高齢者増加の影響により、令和3年が1,757件、令和4年が2,095件、令和5年が2,189件と年々増加しているとのことでした。

続いて、新庁舎の構造については、鉄筋コンクリート造りの一部3階建てで、1階は車庫、仮眠室、感染症対策室、倉庫等、2階は執務室、待機室、研修室、3階に訓練施設があるほか、別棟には非常用発電機室が設けられていました。1階の仮眠室10室のうち2つは、セキュリティーロックが設けられた区画にトイレと風呂が完備されており、感染症対策及び女性職員が配置された場合の勤務環境にも考慮されていると感じました。

最後に、旧庁舎の利活用については、将来的に庁舎を除却し、新庁舎と関連した訓練塔を建設する構想を持っているとのことでした。

委員からは、令和6年度に長崎県でも運用が予定されている病気やけがへの対処で迷ったときの#7119ダイヤルも含め、医療機関及び福祉関連機関等と協議する場を早期に設け、救急車

の適切な利用につなげてほしい。旧庁舎の利活用については、対馬での消防業務における施設の必要性和除却・建設に係る費用等を考慮した上で十分に検討してほしいなどの意見がありました。

以上で、総務文教常任委員会の閉会中の所管事務調査報告を終わります。

○議長（初村 久藏君） 報告が終わりました。

これから委員長報告に対する質疑を行います。質疑はありませんか。1番、糸瀬雅之君。

○議員（1番 糸瀬 雅之君） 委員長にちょっとお尋ねを申し上げたいんですけども、今、この消防署の職員数の問題が委員長のほうから報告がありまして、定員が106名に対して17名が不足をしているということで、この問題について、委員のほうから今後の職員の不足についての何か意見等はなかったのか、委員長にお尋ねします。

○議長（初村 久藏君） 委員長、陶山荘太郎君。

○議員（2番 陶山 荘太郎君） 糸瀬委員の質問について回答いたします。

実際、職員の確保についての意見はありましたが、今回は中部支署の運用ですので、取りあえず消防署のほうも中途採用については継続的に職員の募集をかけて、それについては筆記試験等は免除しているということで、あと、全体的なものについては今回の協議はありませんでした。

特に限られた人数で、今、隔日勤務3名というのは最低限の消防、救急のクルーの数が最低限3名いますので、連携しつつも最低限の数ですので、取りあえず救急出動に関する負担を減らすように、今後、#7119ダイヤルとか医療機関の協議等を活用しまして、救急車の適切な利用に関する市民への周知とか、そういうところをやっていくべきではないかということが議題には上がりました。

以上です。

○議長（初村 久藏君） 1番、糸瀬雅之君。

○議員（1番 糸瀬 雅之君） ありがとうございます。今回、所管事務調査をされたということで、やはり消防職員の17名の不足、また、今年度3月にも四、五名辞められると聞いております。その中で、やはり今後、対馬市の安全・安心な、対馬市民の命と防災のほうが非常に今後心配をしております。その辺、消防長のほうも大変頭を悩まされていると思いますけども、これは職員の退職という、不足ということは、対馬市にとりまして、人材が本当に喫緊の課題だと思っております。

以上であります。

○議長（初村 久藏君） ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（初村 久藏君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

日程第6. 厚生常任委員会の閉会中の所管事務調査報告

○議長（初村 久蔵君） 日程第6、厚生常任委員会の閉会中の所管事務調査報告を行います。

厚生常任委員長、島居真吾君。

○議員（4番 島居 真吾君） おはようございます。厚生常任委員会の所管事務調査報告を行います。

本委員会は、令和6年2月7日、海岸漂着物対策事業について所管事務調査を行いました。

まず、美津島町箕形にある一般社団法人対馬CAPPAを訪問し、上野代表理事と末永理事から中間支援業務委託について及び海岸漂着物モニタリング調査業務委託について説明を受けました。

1点目の中間支援業務委託について、中間支援組織とは対馬市と国や県、海岸漂着物関係者間の連絡・調整・情報共有を行い、市民と一緒に対馬の海岸や海の環境を保全する活動を進めるための組織として運営されており、その一環として、対馬の海ごみ対策に関する情報の集約・情報発信・情報共有の機能を担う対馬海ごみ情報センターが設置されているとのことでした。

対馬市では、深刻な漂着ごみ問題の解決を図るため、平成27年3月に策定された対馬市海岸漂着物対策推進行動計画に基づき、総合的な海岸環境の保全に取り組んでいます。

対馬市が業務委託し、対馬CAPPAが取り組んでいる中間支援組織の具体的な業務内容は、1、対馬市海岸漂着物対策推進協議会運営業務、2、漂着物のトランク・ミュージアムの管理運営業務、3、対馬海ごみ情報センター（ホームページ）の運営業務、4、日韓市民ビーチクリーンアップ・ワークショップの運営業務、5、ボランティア団体受入れ業務、6、対馬市CATV（海ごみ問題一般的教育放送）番組制作業務、7、対馬海ごみシンポジウムがあり、それぞれの業務内容について説明を受けました。

初めに、海ごみ問題の教育啓発用に制作された10分程度の番組を視聴しました。この番組を、対馬市CATVで放送したり、市内の学校や公共施設等で積極的に活用することにより、市民全体の環境意識向上や効果的な海ごみ問題の普及啓発活動に役立てるとのことでした。

漂着物のトランク・ミュージアムとは、一般社団法人JEANが対馬市のために特別に制作したオリジナルの展示物で、旅行用のトランクにペットボトルや漁具等の漂着物が詰め込まれていました。学校等の出前授業や様々なイベントで展示され、漂着ごみの種類や問題点等を理解し、海の楽しさや海洋汚染の実態が学べるツールとして、普及啓発のために活用されているそうです。

また、令和5年7月15日に開催された対馬海ごみシンポジウム2023では、海洋プラスチックごみの回収と再資源化の課題について専門家の意見を聞き、ディスカッションを通して解決に向けた方向性を模索する機会になったとともに、翌日の2023日韓市民ビーチクリーンアップ・ワークショップでは、上県町の井口浜海水浴場において、日韓の学生及び島内外の環境保全

活動を行っている企業団体やボランティアなど、300名を超える参加者が海岸清掃を行った後、峰地区公民館において約130名がワークショップに参加し、身の回りにあるプラスチックをテーマに、熱心なグループディスカッションが行われたとのことでした。

2点目の海岸漂着物モニタリング調査業務委託については、調査対象の田ノ浜、青海、修理田浜、上槻、五根緒、ナイラ浜の6地点の海岸において、年に4回、モニタリング調査を実施しているそうです。モニタリング調査の計測・分析の結果として、韓国からの漂着ごみが4割、中国からの漂着ごみが3割を占めており、中国の漂着ごみの割合が年々増えている状況にあるとのことでした。また、漂着ごみが増えた理由として、線状降水帯による集中豪雨や台風の大型化などが要因であると考えられるとのことでした。

上野代表理事は、対馬を訪れた人に、対馬は漂着ごみの島というイメージを持ってほしくない。漂着ごみを回収して、シーカヤックに乗って自然を満喫して、観光と環境を一緒に体験してもらい、自然豊かな島であることを多くの人に知ってもらいたいと話されました。

対馬CAPPAの視察終了後、美津島行政サービスセンター別館2階大会議室において、令和5年12月3日に実施されたラーム・エマニュエル駐日米国大使とユン・ドクミン駐日大韓民国大使の海岸視察・清掃の概要について、環境政策課の阿比留課長と福島課長補佐より説明を受けました。

この視察は、令和5年8月にキャンプ・デービッドにおいて開催された日米韓首脳会談がきっかけで実現したもので、対馬にとっては歴史的な一日となり、また、令和6年度に海洋環境に関する日米韓シンポジウムが開催される合意がなされたとの報告がありました。

委員からは、漂着ごみの発生抑制の手段として、対馬と韓国の漁民同士が交流し、漂着ごみ問題について理解を深め合ってはどうか。海洋環境の国際会議等の場で機会を設けていただき、対馬の漂着ごみについて国家間の相互理解や共通認識を深めてもらいたいなどの意見がありました。

以上で、厚生常任委員会の閉会中の所管事務調査報告を終わります。

○議長（初村 久藏君） 報告が終わりました。

これから委員長報告に対する質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（初村 久藏君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

日程第7. 産業建設常任委員会の閉会中の所管事務調査報告

○議長（初村 久藏君） 日程第7、産業建設常任委員会の閉会中の所管事務調査報告を行います。

産業建設常任委員長、坂本充弘君。

○議員（5番 坂本 充弘君） おはようございます。産業建設常任委員会の所管事務調査報告を

行います。

本委員会は、令和6年2月20日に三宇田浜周辺の観光施設等の整備状況、利用状況及び今後の計画について所管事務調査を行いました。

当日は、原田上対馬振興部長、三原地域振興課長、西村課長補佐、扇係長に出席を求め、三宇田浜園地内のキャンプ場の整備状況及び上対馬温泉渚の湯の施設の状況を視察した後、上対馬庁舎にて説明を受けました。

三宇田浜園地は、天然の砂浜が広がる海水浴場と隣接する高台に整備されたキャンプ場で形成されており、エメラルドグリーンの海、白い砂浜、緑の山々による美しいコントラストは、景勝地としての利用も高く北部対馬を代表する観光スポットとなっています。また、韓国釜山との国際航路がある比田勝港に近いこともあり、航路再開以降は韓国人観光客の増加が顕著となっています。

施設の整備状況については、三宇田浜園地を北部対馬の観光拠点と位置づけ、利用者のニーズに対応したキャンプ施設に改修し、交流人口の増大と観光拠点としての機能充実を図ることを目的に、平成30年度から令和5年度の6年間で環境省の自然環境整備交付金を活用し、総事業費1億2,638万6,000円をかけて三宇田浜園地リニューアル整備事業を実施しています。

事業内容は、管理棟の新設、あずまや・給水施設の新設などの持込みテントサイト整備、バンガロー・オートキャンプ場の新設などの常設テントサイト整備となっています。

令和5年度のキャンプ場の利用者数は、4月から1月までで621人、使用料は69万8,420円、海水浴場の利用者数は海水浴場開設期間で1万9,550人となっており、キャンプ場の利用者、海水浴場の利用者ともにここ数年は増加しています。

渚の湯は、旧上対馬町が観光の目玉として平成12年8月から温泉掘削を開始。住民が楽しみ、くつろぎや安らぎの場として、また、子どもから高齢者までの世代間の交流、さらには島内外からの観光客を積極的に受け入れる施設として平成15年度に供用開始しています。令和5年度の利用者数は、4月から1月までで2万2,688人となっており、国際航路再開もあり増加傾向にあります。

三宇田浜園地及び渚の湯の今後の利用計画については、令和6年度から令和7年度にかけて策定予定の（仮称）北部対馬アクションプランに盛り込み、計画的に取り組むこととしています。観光客が訪れたいくなり、再来したくなる北部対馬の主要な観光施設として、施設環境の充実や高付加価値化を図っていくため、現時点の案として、三宇田浜園地において、台風で倒壊したあずまやの跡地にフォトスポットや熱中症対策のための休憩棟の新設、利用者等の安全確保のためのAED設置を予定しており、海水浴場でのマリンアクティビティの可能性について研究・検討します。

また、渚の湯においては、建設から20年が経過し老朽化が進んでいるため、機材故障等により施設運営に支障が出ないよう対応するため、指定管理者との連絡を密にし、安心・安全な施設運営に努めたいという説明がありました。

以上で、産業建設常任委員会の閉会中の所管事務調査報告を終わります。

○議長（初村 久藏君） 報告が終わりました。

これから委員長報告に対する質疑を行います。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（初村 久藏君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

日程第8. 長崎県病院企業団議会議員の報告

○議長（初村 久藏君） 日程第8、長崎県病院企業団議会議員の報告を行います。

6番、伊原徹君。

○議員（6番 伊原 徹君） 長崎県病院企業団議会議員報告書。

令和5年長崎県病院企業団議会第2回定例会が、昨年12月27日13時30分から長崎県農協会館7階会議室で開催され、対馬市議会からは脇本議員と私、2名が出席いたしましたので、その審議概要を報告いたします。

初めに、米倉企業長から、前定例会以降の重要事項についての報告と今定例会に上程された議案について説明がなされました。

まず、新型コロナウイルス感染症対策について、国は昨年5月に感染症の位置づけを2類相当から5類に見直したため、本年4月から通常の医療提供体制への完全移行に向けて準備を進めています。

次に、令和4年度の企業団病院の経営状況については、新型コロナウイルス感染症対策に係る国や県からの補助金等の支援により、経常損益では3年連続の黒字でありましたが、本業部分の医業損益では赤字となっています。

このような中、令和4年3月末に総務省から公立病院経営強化ガイドラインが示され、企業団病院においても、令和5年度末までに公立病院経営強化プランの策定が求められています。

企業団では、一昨年からアフターコロナを見据えた病床規模や病床機能の検証、さらに医療従事者の働き方改革や新興感染症対策を新たに追加した第3次中期経営計画（後期計画）として、令和6年3月末の策定を目指しています。

令和6年度の医療人材確保については、地域医療の維持に必要な県の養成医師及び長崎大学等からの派遣による確保、また、離島地域では看護師確保が厳しい状況ではありますが、本土病院から離島病院への派遣などにより、安定的な確保に取り組みたいとの報告を受けました。

今回の審議する提出議案は、予算議案1件、認定議案1件、報告議案2件について慎重に審議

が行われました。

予算議案として、第5号議案、令和5年度長崎県病院企業団病院事業会計補正予算（第4号）は、新型コロナウイルス感染症対策及び壱岐病院の増築工事補正予算、また、本年4月1日履行開始が必要な契約の債務負担行為の変更・追加のためであります。

次に、認定第1号、令和4年度長崎県病院企業団病院事業会計決算の認定については、企業団全体の収益合計は収入総額331億1,996万7,855円に対し、支出総額306億51万6,169円で、差し引き25億1,945万1,686円の純利益となっています。

対馬地域病院の内訳でございますが、対馬病院は事業収益70億6,702万5,558円に対し、事業費用63億526万3,985円で、差し引き7億6,176万1,573円の黒字となっています。

上対馬病院は事業収益11億3,145万3,045円に対し、事業費用10億6,868万5,100円で、差し引き6,276万7,945円の黒字となっています。

企業団全体の資本的収支では、資本的収入35億371万2,170円に対し、資本的支出44億2,731万9,712円で、不足する額9億2,360万7,542円は過年度分損益勘定留保資金と消費税資本収支調整額で補填することになっています。

対馬地域病院の資本的収支ですが、対馬病院は資本的収入5億5,605万595円に対し、資本的支出7億1,928万2,194円で、不足する額1億6,323万1,599円は過年度分損益勘定留保資金と消費税資本収支調整額で補填することになっています。

上対馬病院は資本的収入9,029万1,046円に対し、資本的支出1億1,848万8,430円で、不足する額2,819万7,384円は過年度分損益勘定留保資金と消費税資本収支調整額で補填することになっています。

次に、企業長専決事項報告の報告第3号及び報告第4号は、上五島地域の診療所での外来で対応する新型コロナウイルス感染症対策に必要なHEPAフィルター付空気清浄機の設備整備費の専決補正予算の報告であります。

議案外報告としまして、次の6件の報告がありました。

1、令和4年度長崎県病院企業団病院事業会計予算繰越計算書報告について、島原、五島中央、対馬病院及び壱岐病院に係る繰越事業の報告がありました。

2、入札結果報告について、1,000万円以上の建設改良工事費及び5,000万円以上の医療機器購入費の入札結果が報告されました。なお、対馬地域では、対馬病院敷地内に2階建て10世帯の医師宿舍新築工事及び医療機器売買契約締結の報告がありました。

3、令和5年度上半期、4月から9月の経営状況について、前年度との比較では、企業団全体では病床利用率マイナス0.7%、入院患者数1日当たりマイナス10.4名、外来患者数では

1日当たり55.3名の減により、対前年度と比較した医業収支差はマイナス6億2,800万円
で、やや悪化傾向が伺えます。

4、長崎県病院企業団第3次中期経営計画（後期計画）素案の概要について、病院企業団では、平成21年度に病院改革プランの策定、平成24年は中期経営計画、平成29年は第2次中期経営計画、令和3年からは第3次中期経営計画により、3年ごとに離島病院の再編や経営の健全化に取り組んでいます。現行の第3次中期経営計画の取組を継続、更新しつつ、新たに公立病院経営強化プランで求められている取組を追加して、第3次中期経営計画（後期計画）を策定するものであります。

このため、本土地区2施設、五島地区3施設、上五島地区3施設、対馬地区2施設、壱岐地区1施設の計11施設について、アフターコロナを見据えた地域別の検証計画が進められています。

対馬地域ですが、対馬病院ではコロナ対策のため臨時的に休床中の4階東病棟52床を引き続き休床状態とし、地域医療に及ぼす影響を見極めた上で、令和7年に40床の廃止を検討したいとのことです。

上対馬病院は、建て替えに伴い、既存60床を10床から2床程度の病床数の削減の方向で進められています。

対馬地域病院の病床数の方針については、昨年8月に開催された対馬地域の調整会議で合意済みとのことです。

5、介護施設の状況と課題について、企業団が運営する介護施設の状況と課題では、地域で支える医療と介護をスローガンに進めていますが、昨年8月に行われました島原地区の3市、五島市、新上五島町、対馬市、壱岐市それぞれの地域医療連携室の職員を対象に、介護施設の充足状況等に関する意見交換会が開催されました。

その結果ですが、

1、生産年齢人口の減少により医療人材が不足する中で、施設に入所できず病院待機者が増えれば医療体制に影響を及ぼすおそれがある。

2、要介護認定まで時間が長く、入院後、施設入所までの調整が難しい。

3、ケアプランを作成するケアマネジャーが不足している。

4、市町関係部局との定期的な意見交換会の場が必要である。

5、吸引措置等の医療行為、透析治療や認知症等の受け先がないなどの課題が報告されています。

6番目です。企業団病院の建て替え・増築工事について、壱岐病院の増築、駐車場造成工事、上五島病院の建て替え、有川医療センター建て替え、上対馬病院の建て替えについての進捗状況が報告されました。上対馬病院建て替えについては、対馬市が実施した地域住民を対象としたア

ンケート調査結果を参考に建設地を決定し、今後、企業団と協議を行う予定との報告がありました。

以上で、令和5年第2回長崎県病院企業団議会定例会における報告を終わります。

○議長（初村 久藏君） 報告が終わりました。

これから報告に対する質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（初村 久藏君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

暫時休憩いたします。再開を11時10分からいたします。

午前10時55分休憩

午前11時10分再開

○議長（初村 久藏君） 再開いたします。

日程第9. 長崎県後期高齢者医療広域連合議会議員の報告

○議長（初村 久藏君） 日程第9、長崎県後期高齢者医療広域連合議会議員の報告を行います。

10番、小島徳重君。

○議員（10番 小島 徳重君） 長崎県後期高齢者医療広域連合議会議員報告を行います。

令和6年2月14日、ホテルセントヒル長崎において、令和6年第1回長崎県後期高齢者医療広域連合議会定例会が開催されましたので、議案審議等の内容について、次のとおり報告いたします。

議案審議に入る前に、経過等の報告がありました。

主な内容は次のとおりです。

1、国の動向について、昨年12月5日に開催された経済財政諮問会議において、少子化対策の財政確保や医療・介護保険制度の持続性確保のため、社会保障改革工程の素案が示され、12月末の閣議で決定されました。

また、こども家庭庁においては、12月11日に支援金制度等の具体的設計に関する大臣懇話会の第2回会合を開き、次元の異なる少子化対策の財源の一部を賄う子ども・子育て支援金制度の素案を示し、支援金の拠出については、各医療保険者が被保険者等から保険料と合わせて支援金を徴収することとして、同じく12月末の閣議で決定されました。今後、今年の国会に関連法案が提出されることとなります。

次に、令和6年度予算案における社会保障費は、前年度比2.3%増の37兆7,193億円と、初めて37兆円台となり、医療機関に支払う診療報酬については0.88%のプラス改定、薬価

比は1%のマイナス改定となりました。この令和6年度予算案についても、12月末の閣議で決定されました。

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（マイナンバー法）等の一部改正法の施行期日を定める政令が閣議決定され、現行の保険証については、本年12月2日から新規発行を終了することが決定されました。今後は、マイナンバーカードの取得の円滑化及びマイナ保険証の不安払拭に向けた取組が講じられるとされています。

2、国に対する要望について、令和5年11月15日、全国の広域連合で組織する全国後期高齢者医療広域連合協議会は、高齢者数がピークを迎える2043年を展望し、後期高齢者医療制度の基盤強化や持続性を確保し、必要な改善を図るため、国による積極的な対応や実現に向けた取組を要望し、6項目についての要望書を武見敬三厚生労働大臣に提出しました。

3、第3期データヘルス計画の策定について、広域連合では、高齢者の医療の確保に関する法律及び高齢者の医療の確保に関する法律に基づく高齢者保健事業の実施等に関する指針に基づき、平成27年3月に第1期データヘルス計画、平成30年3月に第2期データヘルス計画を策定し、保健事業等を実施してきました。今年度で第2期の計画が終了するため、現在、令和6年度から令和11年度までを計画期間とする第3期データヘルス計画の策定を行っています。

第3期計画においては、令和2年度から開始された高齢者の保健事業と介護要望等の一体的実施の取組を中心とし、国が定めた共通評価指標を活用することで、より効果的な保健事業を推進します。

現在、作成した計画案については、懇話会、市町関係課及びパブリックコメントで意見照会を行ったところです。今後、頂いた意見を参考に計画案を見直し、令和6年3月末までに計画を策定します。

議案審議の内容については、次のとおりです。

議案審議については、条例改正案2件、予算議案4件、財産の取得1件が上程され、慎重審議の結果、いずれも賛成多数により原案のとおり可決されました。

議案第1号、長崎県後期高齢者医療広域連合職員の給与に関する条例の一部を改正する条例。

提案理由。地方自治法の一部を改正する法律により、令和6年度から会計年度任用職員に対し勤勉手当を支給することができるものとされたことを踏まえ、所要の整備をしたいため、この条例案を提出する。

議案第2号、長崎県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例。

提案理由。令和6年度及び令和7年度の保険料率、令和6年度以降の保険料賦課限度額に関する事項、保険料の算定方法及び保険料の均等割軽減判定に用いる額等を定めたいため、この条例

案を提出する。

なお、保険料率等は以下のとおりとなっています。

令和4年度、令和5年度は、均等割が年額4万9,000円、所得割が9.03%ですが、令和6年度、令和7年度は、均等割が年額5万2,400円、所得割が10.31%となり、いずれも保険料が上がることとなります。

議案第3号、令和5年度長崎県後期高齢者医療広域連合一般会計補正予算（第1号）。

令和5年度長崎県後期高齢者医療広域連合一般会計補正予算（第1号）は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1,518万4,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ2億5,008万6,000円とするものです。

令和4年度決算余剰金を受け入れるとともに、職員給与費と財政調整基金積立金について予算の補正を必要とするものです。

議案第4号、令和5年度長崎県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）。

令和5年度長崎県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ35億2,886万6,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ2,401億9,032万2,000円とするものです。

令和4年度決算余剰金を受け入れ、償還金等を整理する必要があること、特別高額医療共同事業拠出金に不用額が見込まれること、業務に係る不用額が生じたこと、その他について予算の補正を必要とするものです。

議案第5号、令和6年度長崎県後期高齢者医療広域連合一般会計予算。

令和6年度長崎県後期高齢者医療広域連合一般会計予算の歳入歳出の総額は、歳入歳出それぞれ2億5,803万4,000円と定めるものです。

歳入の主なものは市町分担金、負担金、歳出の主なものは総務費の一般管理費です。

議案第6号、令和6年度長崎県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計予算。

令和6年度長崎県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計予算の歳入歳出の総額は、歳入歳出それぞれ2,452億5,943万9,000円と定めるものです。

歳入の主なものは国庫支出金、市町村支出金及び支払基金交付金、歳出の主なものは保険給付費です。

議案第7号、財産の取得について。

取得する財産。事務系及び標準システム統合サーバー1式。

内訳。サーバ5台、ストレージ1台、ネットワーク機器3台、その他関連機器等1式。

契約金額。4,103万円です。

議事日程の最後に一般質問が行われ、壱岐市選出の山口欣秀議員、佐々町選出の永田勝美議員が質問されました。

山口欣秀議員の質問内容。

- 1、国民置き去りの「マイナ保険証」化について。
- 2、重い負担となっている保険料について。

永田勝美議員。

- 1、後期高齢者受託事業に係る消費税について。
- 2、後期高齢者受託事業に係る会計検査院の見解について。
- 3、後期高齢者受託事業に係る改善策について。

以上で、長崎県後期高齢者医療広域連合議会議員の報告を終わります。

○議長（初村 久藏君） 報告が終わりました。

これから報告に対する質疑を行います。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（初村 久藏君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

日程第10. 発議第6号

○議長（初村 久藏君） 日程第10、発議第6号、入江有紀君に対する懲罰動議を議題とします。

入江有紀君の退場を求めます。

〔7番 入江 有紀君 退場〕

○議長（初村 久藏君） 令和5年第4回定例会において、閉会中の継続審査事件として懲罰特別委員会に付託しておりました発議第6号について、審査報告書の提出がっております。

懲罰特別委員会の審査報告を求めます。懲罰特別委員長、上野洋次郎君。

○議員（15番 上野 洋次郎君） おはようございます。

懲罰特別委員会審査報告をいたします。

令和5年第4回対馬市議会定例会の令和5年12月8日、大浦孝司議員ほか3名から、入江有紀議員に対する懲罰動議が提出され、定例会最終日の令和5年12月19日、委員会条例第7条第1項の規定により懲罰特別委員会が設置されたところであります。

当委員会は、令和5年12月19日、令和6年2月2日、令和6年2月19日の3回にわたり委員会を開催しましたので、その審査の内容について、会議規則第110条の規定により報告いたします。

本件は、入江議員が令和5年12月6日の自身の一般質問冒頭に、市民からの議員に対するクレームとして、実名は伏せていたが、2名の同僚議員の日頃の行動について問題があると指摘す

るなどの不穏当発言に対し、地方自治法第135条第2項及び会議規則第160条第1項の規定に基づき、入江議員に対する懲罰を要求されたものであります。

地方自治法第132条では、普通地方公共団体の議会の会議又は委員会においては、議員は無礼の言葉を使用し、又は他人の私生活にわたる言論をしてはならないとあります。

今回の入江議員の言動は、神聖な議場の市政一般質問の中において、実名発言はなかったものの、特定の同僚議員の私生活等に触れて批判するという不穏当発言であり、議会の品位を欠くものであると判断しました。

よって、本委員会は入江議員に対し、別紙戒告文のとおり、議場において戒告を科すことに決定しました。

以上で、懲罰特別委員会の審査報告といたします。

○議長（初村 久藏君） 報告が終わりました。

これから委員長報告に対する質疑を行います。質疑はありませんか。16番、大浦孝司君。

○議員（16番 大浦 孝司君） 委員長報告の中身をまずチェックして確認したいことがございます。

まず、1つ目は、実名が当日の一般質問の冒頭には入っておらないと明記されております。ところが、その議会前に、議長宛てに私の個人名を宛てて内容証明付きの書面を送っております。それで私は議長に呼ばれまして、こういうことが来ておるぞと、気をつけてくれというようなことがございました。実名ははっきりしております。

そして、次に確認したいのは、本人が7年前からそういうふうなことを一般住民の方が申されておったことから始まりまして、それで、事務局に各議会、委員会に対する毎年の毎回の調査資料を求めました。その結果、発言された内容はことごとく虚偽の内容でございました。虚偽というのはうそということです。このことを委員会はチェックをされたのかお尋ねいたします。

その2点をまずした後に、委員長の発言を求めたいと思います。

○議長（初村 久藏君） 委員長、上野洋次郎君。

○議員（15番 上野 洋次郎君） まず1点目の実名がないと明記されているということですが、委員会の中では、その実名が個人的に特定できたという考えです。まず最初。そういうことでこういう結果が出ております。分かっていたかと思いますが。

それと、7年前からの事務局の調査資料を提出させたと。そのことも、入江議員のほうには手渡して精査させております。

以上です。

その結果、こういう判断が出たということですから。

○議長（初村 久藏君） 16番、大浦孝司君。

○議員（16番 大浦 孝司君） そこまでは私も今の答弁で分かりますが、結局、処分といいますが、程度と申しますか、ここに別添の資料がございます。戒告。戒告とは、その処分の中身としてどの程度のことなのか、そして、その上にどのような処分があるのか、ここをお尋ねしたい。お願いします。

○議長（初村 久藏君） 委員長、上野洋次郎君。

○議員（15番 上野 洋次郎君） では、懲罰の種類を読み上げたいと思います。いいですか。

まず、緩いほうから戒告、陳謝、出席停止、除名とあります。

まず、1番の戒告とは、公開の議場において、懲罰事犯者である者に対し議長が戒告文を朗読することを言います。なお文案は、懲罰特別委員会で起草し、本会議で議決したものを朗読することとなっております。

次に陳謝とは、公開の議場において、懲罰事犯者がその事案について陳謝文を朗読することを言います。なお、文案は戒告文と同様に、懲罰特別委員会で起草し、本会議で議決したものを朗読することとなっております。

出席停止とは、議会の会期中、一定期間議会の会議、委員会への出席を停止する処分のことを言います。なお、本市議会では、会議規則第163条において、出席停止は10日を超えることができないと規定されていますので、その範囲内となります。

除名とは、当該議員の身分を剥奪することを言います。除名は懲罰の中で最も重いものであるため、戒告、陳謝、出席停止などの懲罰が過半数議決であるのに対し、本会議において議員の3分の2以上が出席し、その4分の3以上の者の同意が必要となる特別多数議決となっております。以上です。

○議長（初村 久藏君） 16番、大浦孝司君。

○議員（16番 大浦 孝司君） その中で、私はちょっと確認をしたいと思います。

戒告、陳謝、この虚偽の発言を私はしておるというふうなことは裏づけ資料ではっきり申し上げます。それが違うと言え、お互いにそのことについて確認・チェックをすればいいんですけども、話を聞くところによりますと、委員会では、陳謝、謝罪というふうなことを相場として掲げたような発言がある中で、本人は絶対それはしないと、こういうことを会議の場所で呼び出しの中で発言された。これは事実ですか。

このことに加えて、委員会は委員会なりの一つの利害関係なく人の発言を裁く、提案するというふうなことで私は捉えておるものでありますが、絶対陳謝をしない、そのようなことを会議の席で申されて、それが1ランク下がった戒告ということになっているように私は感じますが、委員長さん、その陳謝というふうなことの確認をされたというふうなことは耳に私入ったんですが、いかがでしょうか。そのことが事実ですか。そうじゃないんですか。

○議長（初村 久藏君） 委員長、上野洋次郎君。

○議員（15番 上野 洋次郎君） 私の記憶では、陳謝とかそういうことじゃなくて、委員会として処分が決定したときに、その処分に決定いただけますかという質問をした記憶があります。陳謝とか戒告とかそういうことは私は言っておりません。

それと、大浦議員の中で、入江議員に対しての委員会の中で、これはちょっと公平になりませんので、入江議員の言ったことも、大浦議員の言ったことも、小田議員の言ったことも、弁明をちゃんとさせておりますので、その3つのことを3人からの弁明を答えたいと思います。よろしいですか。

○議長（初村 久藏君） どうぞ。

○議員（15番 上野 洋次郎君） いいですか。これは公平に期したんです。

まず、委員会の中で大浦議員の弁明です。いつも休んでいるとの発言であったので、議会事務局で調べてもらった。事実確認をしないままの発言であり、重い処分を願う。一般質問の通告外、議場内の発言であることも問題である。

小田議員の弁明。入江議員の発言は私のこととっておりますので、動議を提出しました。1年のうち半分休んでいる発言は、幾ら市民の声であっても調査確認もせず、テレビの前で発言をしたことは問題である。

次に、入江議員の弁明です。市民からのお願いされた意見を代弁しただけで、名前も「ある議員」としてしか言っていません。悪いことをしたとは思わない。こんなことで懲罰にかけられたら議員として活動できない。今後も市民の意見を吸い上げて代弁していく。

大浦議員の件は、産建、厚生と一緒に、まともに委員会に参加していなかったもので、本当のことを書いてあると思った。

懲罰特別委員会の決定に従いますかの委員長質疑に対し、悪いことをしたとは思っていないので従うつもりはない。

このことはそのときの答弁であって、その後、考えがどうなっているかということは、この決定してからの入江議員の行動だと思います。

○議長（初村 久藏君） 16番、大浦孝司君。

○議員（16番 大浦 孝司君） 私は一番最初に申し上げましたが、事務局の出面チェック確認はされたかということを行っているんです。そこにチェックすれば分かる答えが出るとは思いますが、入江議員は特別そういうふうなことがオーバーヒートされまして、独自の発言がなされておると、私はそこを言っているんです。そのところをチェックするのが本当の委員会だと思っております。

それがそうではないというふうなことで、戒告というのはどういうことか。謝罪は最低適当で

あろうと、私の会派の中で重い処分をしていただきたいということで、代表を送り出したつもりでありましたけども、そういうことがございました。だから、私は軽いというふうなこと、非常に委員会として問題がある採決をされたと、かようにこの文書を見る限り思います。

以上で、私の質問を終わりますが、最後に、虚偽の発言をして困るような、恥をかかすようなことをやった場合に、重い処分を最初からこの議会の中で話し合いをして、そういうレベルというものを確定せんと。議長も止めない、勝手放題をやる、そしてそれが正しいという、こんなことは、私は、対馬市議会の将来にいい影響を与えない、このように思います。

以上で質問を終わります。

○議長（初村 久藏君） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（初村 久藏君） 質疑なしと認め、これで質疑は終わります。

これから討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（初村 久藏君） 討論なしと認め、採決します。

本件について、委員長報告は委員会起草による戒告文により、入江有紀君に戒告の懲罰を科すことです。

本件は、委員長報告のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（初村 久藏君） 起立多数です。入江有紀君に戒告の懲罰を科すことは可決されました。

入江有紀君の入場を求めます。

〔7番 入江 有紀君 入場〕

○議長（初村 久藏君） ただいまの議決に基づいて、これから入江有紀君に懲罰の宣告を行います。

入江有紀君に戒告の懲罰を科します。

これから戒告文を朗読します。入江有紀君の起立を命じます。

戒告文。

入江有紀議員は、令和5年12月6日の本会議の一般質問における発言中、同僚議員の私生活等を批判するなどの不穏当な発言をし、議会の秩序を乱したことは、議員の職責にかんがみ、誠に遺憾である。

したがって、地方自治法第135条第1項第1号の規定により戒告する。

令和6年3月7日。

対馬市議会議長、初村久藏。

これもちまして、懲罰特別委員会は終結します。

日程第11. 承認第1号

○議長（初村 久藏君） 日程第11、承認第1号、専決処分の承認を求めることについて（令和5年度対馬市一般会計補正予算（第7号））を議題とします。

提案理由の説明を求めます。総務部長、木寺裕也君。

○総務部長（木寺 裕也君） ただいま議題となりました承認第1号、専決処分の承認を求めることについて、その提案理由と内容を御説明申し上げます。

本案は、令和5年度対馬市一般会計補正予算（第7号）を令和6年2月1日付で地方自治法第179条第1項の規定により専決処分をいたしましたので、同条第3項の規定により報告し承認を求めるものでございます。

この補正は、令和6年4月28日執行予定の衆議院小選挙区選出議員補欠選挙に係る費用を計上したものでございます。

予算書3ページをお願いいたします。

第1条第1項、歳入歳出予算の補正でございますが、令和5年度対馬市一般会計補正予算（第7号）は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ550万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ343億9,277万1,000円とするものでございます。

第2項、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、4ページから5ページにかけての「第1表 歳入歳出予算補正」によるものでございます。

第2条、債務負担行為の補正は、債務負担行為の追加を6ページ、7ページの「第2表 債務負担行為補正」によることとし、衆議院小選挙区選出議員補欠選挙費を追加するものでございます。

次に、歳入歳出補正予算の内容について御説明いたします。

10ページをお願いいたします。

まず、歳入でございますが、16款・県支出金、3項・委託金は、衆議院議員選挙費委託金550万円を計上しております。

続きまして、歳出について御説明いたします。

2款・総務費、4項・選挙費は、衆議院議員選挙に係る時間外勤務手当、備品購入費のほか事務費と合わせて550万円を計上しております。

なお、12ページ、13ページに補正予算給与費明細書を添えておりますので、御参照ください。

以上、簡単ではございますが、提案理由の説明を終わります。御審議の上、御承認賜りますよう、よろしくお願いいたします。

○議長（初村 久藏君） 説明が終わりました。

これから質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（初村 久藏君） 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

お諮りします。本件は、委員会への付託を省略したいと思います。御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（初村 久藏君） 異議なしと認めます。本件は、委員会への付託を省略することに決定しました。

これから討論、採決を行います。

承認第1号、専決処分の承認を求めることについて（令和5年度対馬市一般会計補正予算（第7号））について、討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（初村 久藏君） 討論なしと認め、採決します。

本件は、原案のとおり承認することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（初村 久藏君） 異議なしと認めます。本件は、原案のとおり承認されました。

昼食休憩といたします。再開を1時5分からといたします。

午前11時49分休憩

午後1時05分再開

○議長（初村 久藏君） 再開します。

報告します。小田昭人君から欠席の届出があっております。

日程第12. 議案第2号

○議長（初村 久藏君） 日程第12、議案第2号、令和5年度対馬市一般会計補正予算（第8号）を議題とします。

提案理由の説明を求めます。総務部長、木寺裕也君。

○総務部長（木寺 裕也君） ただいま議題となりました議案第2号、令和5年度対馬市一般会計補正予算（第8号）について、その提案理由と内容を御説明申し上げます。

今回の補正は、12月に臨時財政対策債の償還に充てる財源として追加された、普通交付税の

減債基金への積立てと、各事務事業の実績等によります調整が主なものでございます。

予算書の3ページをお願いいたします。

令和5年度対馬市一般会計補正予算（第8号）は、次に定めるところによることを規定し、第1条第1項、歳入歳出予算の補正は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2億5,855万1,000円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ341億3,422万円とするものでございます。

第2項、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、4ページから6ページにかけての「第1表 歳入歳出予算補正」によるものでございます。

第2条、継続費の補正は、継続費の変更を、8ページ9ページの「第2表 継続費補正」によるものとし、市道尾浦浅藻線道路改良事業費、公営住宅等整備事業、市道目保呂ダム支線道路災害復旧事業の総額、事業年度及び年割額をそれぞれ変更するものでございます。

第3条、繰越明許費は、地方自治法第213条第1項の規定により、翌年度に繰り越して使用することができる経費を、8ページから11ページにかけての「第3表 繰越明許費」によるものとし、合計53件、15億5,544万5,000円を繰り越せるとするものでございます。

なお、この繰越明許費につきましては、別途繰越し理由一覧表をタブレットに掲載しておりますので、後ほど御参照ください。

第4条、地方債の補正は、地方債の変更を、12ページ、13ページの「第4表 地方債補正」によるものとし、地方債の限度額を38億5,990万円とするものでございます。

次に、歳入歳出補正予算の内容について、その主なものを御説明いたします。

18ページをお願いいたします。

まず、歳入でございますが、1款・市税は、所得割の増により、市民税4,000万円、固定資産税1,000万円と、たばこ税2,000万円を追加しております。

11款・地方交付税は、普通交付税6,403万4,000円を追加しております。

13款・分担金及び負担金は、急傾斜地崩壊対策事業分担金の減が主なものでございます。

20ページをお願いいたします。

15款・国庫支出金、1項・国庫負担金でございますが、事業の実績見込み等により、1目・民生費国庫負担金50万円の減額のほか、4目・災害復旧費国庫負担金199万9,000円の増額と合わせまして、149万9,000円を増額しております。

2項・国庫補助金は、社会保障・税番号制度システム整備費補助金や特定有人国境離島地域社会維持推進交付金の追加、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、社会資本整備総合交付金の減や事業の実績等による増減により、731万9,000円の減額となっております。

16款・県支出金、1項・県負担金は、事業の実績等により、821万4,000円を減額しております。

22ページをお願いいたします。

2項・県補助金は、有害鳥獣被害防止対策事業補助金の減や事業実績見込みによる増減等により7,042万4,000円の減額となっております。

17款・財産収入は、立木売払収入308万円を追加しております。

19款・繰入金は、財源調整によります財政調整基金繰入金2億7,122万3,000円の減、がんばれ国境の島対馬ふるさと応援基金繰入金600万円の減が主なものでございます。

24ページをお願いいたします。

21款・諸収入は、過年度分の災害対策費用保険129万1,000円を追加しております。

22款・市債は、漁業用燃油高騰対策事業、道路事業、自然災害防止事業の減額や国の補正予算による公営住宅建設事業の追加、事業実績見込みによる増減により3,330万円の減額となっております。

続きまして、歳出について御説明いたします。

なお、歳出につきましては、別途参考資料をタブレットに掲載しておりますので、後ほど御参照ください。

26ページをお願いいたします。

2款・総務費、1項・総務管理費は、減債基金積立金の増や各事業の実績見込みによる増減により5,732万2,000円の増額となっております。

3項・戸籍住民基本台帳費は、戸籍電算システム改修委託料283万8,000円を追加しております。

3款・民生費、1項・社会福祉費は、予算の組替えのほか、後期高齢者医療広域連合負担金713万6,000円の増や後期高齢者医療特別会計繰出金1,095万3,000円の減額など、事業実績見込みによる増減により510万7,000円の減額となっております。

28ページをお願いいたします。

4款・衛生費、1項・保健衛生費は、水道事業負担金915万8,000円、診療所特別会計繰出金1,463万6,000円の減が主なものでございます。

2項・清掃費は、事業実績などによる5,139万4,000円の減額でございます。

6款・農林水産業費、1項・農業費は、そば生産出荷奨励事業補助金502万4,000円の増額、有害鳥獣捕獲補助金6,401万2,000円の減額など、事業実績見込みによる増減を合わせて5,898万8,000円の減額となっております。

30ページをお願いいたします。

2項・林業費は、森・川・里・海環境保全再生基金積立金308万円の追加や事業実績見込みによる増減と合わせまして188万円の増額となっております。

3項・水産業費、2目・水産業振興費は、活魚・鮮魚等輸送コスト助成事業補助金3,978万3,000円の増、漁業用燃油高騰対策事業補助金5,005万円の減など、事業実績見込みによる増減と合わせまして2,284万3,000円の減額、4目・漁港建設費は、国の補正に伴う事業費の追加や事業実績見込みによる増減と合わせまして584万円の増額となっております。

32ページをお願いいたします。

8款・土木費、2項・道路橋りょう費は、国の補正に伴う事業費の追加や事業実績見込みにより増減などによりまして400万円の減額となっております。

3項・河川費は、栈草地区急傾斜地対策工事5,000万円の減や急傾斜地崩壊対策事業負担金460万円の追加でございます。

4項・港湾費は、港湾工事負担金1,547万7,000円の増額や県海岸事業負担金730万円の減額でございます。

34ページをお願いいたします。

10款・教育費は、美津島文化会館大会議室空調設備改修工事と委託料790万7,000円の増や事業実績見込みなどにより増減となっております。

11款・災害復旧費でございますが、事業実績見込みにより、漁港施設災害復旧工事費7,200万円、道路災害復旧工事費500万円の減額が主なものでございます。

12款・公債費は、借入利率の決定などにより、償還金利子4,000万円を減額しております。

以上、簡単ではございますが、提案理由の説明を終わらせていただきます。御審議の上、御決定賜りますよう、よろしくお願いいたします。

○議長（初村 久藏君） 説明が終わりました。

これから質疑を行います。質疑はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（初村 久藏君） 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

本件は、配付しております議案審査付託表のとおり、各常任委員会に付託します。

日程第13. 議案第3号

日程第14. 議案第4号

○議長（初村 久藏君） 日程第13、議案第3号、令和5年度対馬市診療所特別会計補正予算（第3号）及び日程第14、議案第4号、令和5年度対馬市後期高齢者医療特別会計補正予算

(第2号)の2件を一括議題とします。

提案理由の説明を求めます。保健部長、桐谷和孝君。

○保健部長(桐谷 和孝君) ただいま一括議題となりました議案第3号及び議案第4号の2件につきまして、その提案理由と内容について、続けて御説明いたします。

まず、議案第3号、令和5年度対馬市診療所特別会計補正予算(第3号)につきまして御説明いたします。

今回の補正予算は、長崎県へき地医療対策費補助金の令和4年度診療実績による県補助金返還金が主なものでございます。

予算書の3ページをお願いいたします。

令和5年度対馬市の診療所特別会計補正予算(第3号)は、次に定めるところによることを規定し、歳入歳出予算の補正は、第1条第1項で、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ644万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ4億7,465万8,000円とするものでございます。

第2項、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、4ページ、5ページの「第1表 歳入歳出予算補正」によるとするものでございます。

次に、歳入歳出補正予算の内容について御説明申し上げます。

予算書は、8ページ、9ページをお願いいたします。

まず、歳入でございますが、3款・県支出金、1項・県補助金は、へき地医療対策費補助金を追加しております。

4項・繰入金、1項・他会計繰入金は、一般会計からの繰入金を減額しております。

次に、歳出について御説明申し上げます。

1款・総務費、1項・施設管理費、1目・一般管理費、22節償還金利子及び割引料は、令和4年度診療実績に伴う長崎県へき地医療対策費補助金返還金を計上しております。

2款・医療費、1項・医療費は、財源内訳の変更でございます。

続きまして、議案第4号、令和5年度対馬市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)につきまして御説明いたします。

今回の補正予算は、保険基盤安定負担金の減額及び保険料納付金の追加が主なものでございます。

予算書の3ページをお願いいたします。

令和5年度対馬市の後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)は、次に定めるところによることを規定し、歳入歳出予算の補正は、第1条第1項で、歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それ

ぞれ4万7,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ4億3,885万2,000円とするものでございます。

第2項・歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、4ページ、5ページの「第1表 歳入歳出予算補正」によるとするものでございます。

次に、歳入歳出補正予算の内容につきまして御説明申し上げます。

予算書は8ページ、9ページをお願いいたします。

まず、歳入でございますが、1款1項・後期高齢者医療保険料は、特別徴収及び普通徴収保険料を収納状況により補正しております。

5款・繰入金、1項・一般会計繰入金は、保険基盤安定繰入金の減額でございます。

次に、歳出について御説明いたします。

2款1項1目・後期高齢者医療広域連合納付金は、長崎県後期高齢者医療広域連合へ納める保険基盤安定負担金の減額及び保険料納付金の追加でございます。

以上で、議案第3号及び議案第4号の提案理由の説明を終わります。御審議の上、御決定賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○議長（初村 久藏君） 説明が終わりました。

これから質疑を行います。質疑はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（初村 久藏君） 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

お諮りします。2件は、委員会への付託を省略したいと思います。御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（初村 久藏君） 異議なしと認めます。2件は、委員会への付託を省略することに決定しました。

これから討論、採決を行います。

まず、議案第3号、令和5年度対馬市診療所特別会計補正予算（第3号）について、討論はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（初村 久藏君） 討論なしと認め、採決します。

本件は、原案のとおり決定することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（初村 久藏君） 異議なしと認めます。本件は、原案のとおり可決されました。

次に、議案第4号、令和5年度対馬市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について、

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（初村 久藏君） 討論なしと認め、採決します。

本件は、原案のとおり決定することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（初村 久藏君） 異議なしと認めます。本件は、原案のとおり可決されました。

日程第15. 議案第5号

日程第16. 議案第6号

○議長（初村 久藏君） 日程第15、議案第5号、令和5年度対馬市集落排水処理施設特別会計補正予算（第1号）及び日程第16、議案第6号、令和5年度対馬市水道事業会計補正予算（第2号）の2件を一括議題とします。

提案理由の説明を求めます。水道局長、舍利倉政司君。

○水道局長（舍利倉 政司君） ただいま一括議題となりました議案第5号、令和5年度対馬市集落排水処理施設特別会計補正予算（第1号）及び議案第6号、令和5年度対馬市水道事業会計補正予算（第2号）について、提案理由とその内容を御説明申し上げます。

まず、議案第5号、令和5年度対馬市集落排水処理施設特別会計補正予算（第1号）について御説明申し上げます。

今回の補正は、下水道事業への移行に伴う料金システム等の導入業務委託料の減が主なものでございます。

補正予算書3ページをお願いいたします。

令和5年度対馬市の集落排水処理施設特別会計補正予算（第1号）は、次に定めるところによることを規定し、歳入歳出予算の補正は、第1条第1項で、歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ558万2,000円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ3,529万6,000円とするものでございます。

第2項で、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、4ページから5ページにかけての「第1表 歳入歳出予算補正」によるものとするものでございます。

それでは、補正予算の内容について御説明申し上げます。

8ページ、9ページをお願いいたします。

初めに、歳入でございますが、3款・繰入金、1項・他会計繰入金、1目・一般会計繰入金は、一般会計からの繰入金191万8,000円の追加、6款・市債、1項・市債、1目・下水道事

業債は、公営企業会計適用債750万円の減額でございます。

次に、歳出でございますが、1款・下水道事業費、1項・下水道管理費、1目・一般管理費、12節委託料で、下水道事業への移行に伴う料金システム及び会計システム導入に係る業務委託料559万9,000円の減額、2款・公債費、1項・公債費、2目・利子、22節償還金利子及び割引料で、償還金利子1万7,000円の追加でございます。

続きまして、議案第6号、令和5年度対馬市水道事業会計補正予算（第2号）について御説明申し上げます。

今回の補正は、水道使用料の追加と、それに伴う消費税の追加及び工事請負費の減が主なものでございます。

補正予算書3ページをお願いいたします。

第1条で、令和5年度対馬市水道事業会計の補正予算（第2号）は、次に定めるところによることを規定し、第2条で、対馬市水道事業会計予算第3条に定めた収益的収入及び支出の予定額を、次のとおり補正するものでございます。

収入で、第1款・水道事業収益、第1項・営業収益を2,122万円追加、第2項・営業外収益を415万8,000円減額し、水道事業収益の総額を10億9,486万8,000円とし、支出で、第1款・水道事業費用、第2項・営業外費用を300万円追加し、水道事業費用の総額を10億291万円とするものでございます。

第3条で、予算第4条本文中括弧書を「資本的収入額が資本的支出額に対し、不足する額3億2,990万1,000円は、当年度分消費税資本的収支調整額2,018万4,000円、当年度分損益勘定留保資金2億2,092万8,000円、減債積立金4,166万4,000円、建設改良積立金4,712万5,000円で補填するものとする。」に改め、資本的収入及び支出の予定額を次のとおり補正するものでございます。

収入で、第1款・資本的収入、第3項・負担金を1,205万円減額、第4項・補償金を970万9,000円減額し、資本的収入の総額を2億3,754万4,000円とし、支出で、第1款・資本的支出、第1項・建設改良費を4,187万1,000円減額し、資本的支出の総額を5億6,744万5,000円とするものでございます。

第4条、予算第9条第1号中「2,784万5,000円」を「2,740万7,000円」に、第2条中「1,289万6,000円」を「917万6,000円」に、第4条中「8,095万円」を「6,890万円」に改めるものでございます。

それでは、補正予算書の内容について御説明申し上げます。

8ページ、9ページをお願いいたします。

初めに、収益的収入でございますが、1款・水道事業収益、1項・営業収益、1目・給水収益

は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行により、観光客数が増え、宿泊施設等の水道使用水量が増加したことによる水道使用量2,122万円の追加、2項・営業外収益、4目・他会計負担金は、一般会計からの負担金415万8,000円の減額でございます。

次に、収益的支出でございますが、1款・水道事業費用、2項・営業外費用、3目・消費税は、水道使用量の収入増に伴う消費税300万円の追加でございます。

10ページ、11ページをお願いいたします。

初めに、資本的収入でございますが、1款・資本的収入、3項・負担金、1目・他会計負担金は、一般会計からの工事負担金1,205万円の減額、4項・補償金、1目・補償金は、道路改良工事等に伴う水道施設の移転に係る補償金で970万9,000円の減額でございます。

次に、資本的支出でございますが、1款・資本的支出、1項・建設改良費、2目・施設整備費は、水道施設の移転に伴う補償工事費2,482万1,000円の減額、3目・簡易水道整備工事費は、基幹改良工事の精査による1,705万円の減額でございます。

以上で、議案第5号、議案第6号の説明を終わります。御審議の上、御決定賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○議長（初村 久藏君） 説明が終わりました。

これから質疑を行います。質疑はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（初村 久藏君） 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

お諮りします。2件は、委員会への付託を省略したいと思います。御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（初村 久藏君） 異議なしと認めます。2件は、委員会への付託を省略することに決定しました。

これから討論、採決を行います。

まず、議案第5号、令和5年度対馬市集落排水処理施設特別会計補正予算（第1号）について、討論はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（初村 久藏君） 討論なしと認め、採決します。

本件は、原案のとおり決定することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（初村 久藏君） 異議なしと認めます。本件は、原案のとおり可決されました。

次に、議案第6号、令和5年度対馬市水道事業会計補正予算（第2号）について、討論はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（初村 久藏君） 討論なしと認め、採決します。

本件は、原案のとおり決定することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（初村 久藏君） 異議なしと認めます。本件は、原案のとおり可決されました。

日程第17. 市長の施政方針説明

○議長（初村 久藏君） 日程第17、市長の施政方針説明を行います。

市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 令和6年度一般会計及び特別会計予算の御審議をお願いするに当たり、予算編成方針とその概要を御説明申し上げます。

初めに、去る1月1日に発生しました能登半島地震により、お亡くなりになられた方々に哀悼の意を表しますとともに、被災されました方々に心よりお見舞い申し上げます。

世界中を震撼させてきた新型コロナウイルス感染症も、日本国内で感染者が確認されてからはや4年が経過しております。

ウイルスは、変異を繰り返しながら人々の暮らしの中に大きな影響を与えており、いまなお、収束には至っておりません。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の法律上の位置づけがこれまでの2類相当から5類に引き下げられてからは、対馬市におきましても多方面にわたるイベントが制限なしに実施されることにより、にぎわいと活気が戻りつつあると感じております。

また、3月1日には、市制施行20周年を迎えました。この節目の年を、市民の皆様とお祝いするとともに、これまでの歴史を振り返り、さらなる飛躍に向けて歩み出すきっかけの年とするため、市民企画事業や国境マラソンをはじめとする多種多様な冠事業を計画しております。

令和6年度は、第2次対馬市総合計画後期計画の4年目となります。総合計画の仕上げの年と位置づけ、可能な限りの施策を市議会とともに知恵を絞りながら実行してまいりたいと考えております。

持続可能な島づくりを目指す「SDGs未来都市」関連においては、循環型経済モデル研究開発連携協定を締結している、サラヤ株式会社様が対馬モデルの実現を目指すため、1月22日に対馬市内において新会社を立ち上げられ、設立登記も完了されたと報告を受けております。

今後は、海洋漂着ごみの再資源化や再生可能エネルギーの創出等に向けた研究開発に取り組まれるとともに事業化を目指していくとのことで、大いに期待を寄せているところでございます。

国が重要施策としているデジタル田園都市国家構想においては、デジタル変革時代に即応した組織体制とするために、昨年からのデジタル推進課をしまづくり推進部に組織替えしたところであ

りますが、それに加えて、デジタル推進分野で多方面に活躍されております陳内裕樹氏と小出泰久氏を「未来共創フェロー」として委嘱し、対馬市のデジタル化に向けた取組により、一層進めてまいります。

次に、これまでの長年の保護者の念願であり、市議会からも強い要望が出ておりました特別支援教育におきましては、令和9年4月から巖原中学校施設内に、県立虹の原特別支援学校小・中学部分教室を新たに開設することが決定されましたので、令和6年度から巖原中学校特別教室の大規模改造事業に着手する計画であります。保護者等の負担軽減と特別支援教育推進のため、鋭意整備を進めてまいります。

次に、令和6年度の予算編成についてであります。

令和6年度予算は、こういった取組のほか、対馬ならではの地域の活性化を図り、市民の所得向上と福祉の充実を目標に編成させていただきました。

一方で、市長の改選期に当たることから、重要な政策的な予算を除いた骨格予算の考え方を基本としておりますが、継続事業、緊急を要する事業、国・県などの関係団体との連携が必要な事業などにつきましては、当初予算に計上しております。

その概要を御説明申し上げます。

国の令和6年度予算（案）は、一般会計歳出総額は対前年度比当初で2.3兆円減となる112.1兆円となっております。その内容は、令和5年度補正予算と併せて、歴史的な転換点の中、時代の変化に応じた先送りできない課題に挑戦し、変化の流れをつかみ取るための予算とされております。

具体的には、こども未来戦略に基づく加速化プランの迅速な実施、我が国周辺の厳しい安全保障環境等への的確な対応や防衛力の着実な強化、医療・福祉分野の現場で働く方々の処遇改善をはじめとした、物価に負けない賃上げの実現に向けた取組の推進等に必要となる予算が盛り込まれております。

また、骨太方針に基づき、歳出改革の取組を進める中で、69.6兆円の税収を見込んでおり、これらの結果として、新規国債の発行額は34.9兆円と対前年度比0.7%の減となっております。

また、重点支援地方交付金の仕組みを活用して、低所得者支援及び定額減税を補足する給付を実現するため、物価・賃上げ促進予備費1兆1,311億円の確保、能登半島地震への対応について、復旧・復興の段階などに応じた切れ目ない機動的な対応を確保するため、一般予備費1兆円を確保するなど、予期せぬ状況変化に引き続き万全の備えを講じることとされております。

本市の令和6年度予算編成に当たりましては、政府予算の基本的な考え方や地方財政収支見通しの概要等を考慮しつつ、対馬市独自の施策を限られた財源の中で、可能な限り計上したところ

であります。

その結果、令和6年度の予算規模は、一般会計と5つの特別会計を合わせて、総額427億1,283万5,000円であります。令和6年度から集落排水処理施設特別会計は、地方公営企業法の適用を受けておりますので、特別会計が6会計から5会計になっております。

地方公営企業法の適用を受けます水道事業会計は、収益的収入10億6,642万4,000円、収益的支出10億2,473万1,000円、資本的収入3億6,973万6,000円、資本的支出8億2,064万7,000円、今年度から地方公営企業法の適用を受けます漁業集落排水事業会計は、収益的収入2,565万円、収益的支出2,557万4,000円、資本的収入1,272万3,000円、資本的支出1,440万2,000円としております。

一般会計につきましては、令和5年度当初予算と比較いたしまして、プラス1.7%の332億2,700万円としております。

歳入予算の主な内容といたしまして、市税は、市民税やたばこ税の増収により、対前年度比プラス0.3%の約29億4,000万円を計上しております。

地方交付税につきましては、地方財政計画における総額が対前年度比約3,000億円、1.6%のプラスとなっておりますが、その配分や算定方法が未確定であることを考慮して、対前年度比プラス0.8%の約134億7,000万円を計上しております。

また、財政調整基金、減債基金、合併振興基金などから約31億円を繰り入れるほか、財源補填のある辺地対策事業債、過疎対策事業債、緊急自然災害防止対策事業債などを主として約38億円の市債を計上し、予算を編成いたしました。

次に、歳出予算について、性質別にその概要を御説明いたします。

人件費では、退職手当組合負担金の増、会計年度任用職員の勤勉手当の支給開始などにより、対前年度比プラス5.5%となる約50億円を計上しております。

物件費では、塵芥処理施設の年次点検補修業務委託料の増や電算機器保守委託料の増等により、対前年度比プラス3.6%となる約61億6,000万円を計上しております。

維持補修費では、市民の要望に対し機動的に対応できるよう、市道、農林道、河川などの補修工事費等約1億8,000万円を計上しております。

扶助費では、生活保護費や障害者自立支援事業費の減により、対前年度比マイナス1.5%となる約33億5,000万円を計上しております。

補助費等では、水道事業負担金や病院企業団負担金の増、林業者への離島輸送コスト助成事業補助金の増等により、対前年度比プラス2.8%の約55億2,000万円を計上しております。

公債費では、元利償還金合計約48億2,000万円を計上しております。

普通建設事業費では、対馬市防災行政情報伝達システム整備事業や市道尾浦浅藻線改良事業を

はじめとする大型の継続事業や市道及び漁港・漁場整備など、対前年度比マイナス2%の約62億円を計上しております。

建設事業費は、公債費に連動するため、財政の健全性保持を念頭に置いて、産業基盤対策、生活基盤対策事業を重点的に推進しているところであります。

また、近年多発する大規模な自然災害の復旧などに即時対応できるよう、予備費として6,000万円を計上しております。

次に、令和6年度の主な取組について、第2次対馬市総合計画に掲げる将来像に向けた、4つの挑戦ごとに御説明いたします。

1つ目の挑戦は、「若者を中心に対馬がにぎわっている」、「未来を創る子どもたちに対馬愛が育まれている」、「大人たちが対馬に誇りを持っている」という将来像「みんなが主役になる希望の島」を目指しての「ひとづくり」でございます。

若者が移住・定住したくなる島づくりを目指すため、特定地域づくり事業による担い手対策、移住者に対する引越し経費、住宅家賃や奨学金の返還支援のほか、島内での婚活支援、結婚新生活支援、島おこし協働隊制度の継続と展開、交流イベントや地域の祭りの継続支援などに係る事業を実施します。

対馬らしい働き方や生きがい創出のため、コミュニティ活動や地域づくりへの支援、障害者の社会参画支援、老人クラブ活動への支援、シルバー人材センター運営支援などに係る事業を実施いたします。

安心して子どもを産み・育てることができ、対馬を愛する心豊かな子どもを育み、母子ともに安心できる子育て環境をつくるため、令和6年9月開園に向けた豊玉こども園の整備やへき地保育所への安全な給食提供、安心出産支援、アピアランスケア支援事業、子育て世代包括支援センター事業、ひとり親世帯への支援、ファミリーサポートセンター事業、島っこ留学・離島留学生の受入れ、放課後子ども教室、島内3高校の魅力化支援、地域の特徴を生かした総合的学習、学校給食への地元産の食材提供、子ども夢づくり基金による小中学生の活動支援、教育支援センターの運営などに係る事業を実施いたします。

SDGsの推進を担う島づくり人材を育成し、対馬が直面する課題解決に向けた取組を推進するとともに、交流人口拡大を目指し、域学連携の取組成果をベースに、対馬グローバル大学やデジタル技術を活用したSDGsカフェの開催、SDGsパートナーズ登録の促進、SDGs研究奨励、対馬ブルーカレッジ運営などに係る事業を実施いたします。

対馬の歴史や伝統文化を保全し、市民が対馬の魅力に誇りを持ち、様々な行事や交流等の生涯学習の機会を増やすため、博物館等での常設展示や特別展示、公民館講座、プロスポーツクラブ等連携事業、対馬の歴史・文化・伝統の伝承に関する取組への支援などに係る事業を実施します。

2つ目の挑戦は、「一次産業が持続可能な形で続けられる」、「観光産業等で地域経済が活性化している」、「新産業が作られ、雇用も多く確保できている」という将来像「地域経済が潤い続ける島」を目指しての「なりわいづくり」でございます。

持続可能な農林業の推進のため、耕作放棄地の有効活用の推進、経営の安定や規模拡大のための支援、農産物や木材の輸送コスト助成、対州そばや原木シイタケ生産者への支援、農林業の担い手確保対策、有害鳥獣対策、森林環境譲与税の活用、林道整備などに係る事業を実施します。

持続可能な水産業の推進のため、離島漁業再生支援交付金事業、燃油高騰対策や鮮魚・活魚等の輸送コスト助成による漁業者の経営改善支援、漁業後継者育成支援、食害魚等の有効活用のための調査研究、漁港・漁場整備などに係る事業を実施します。

持続可能な観光業の推進のため、福岡事務所及び「よりあい処つしま」を活用した積極的な国境の島対馬の発信、自然・文化・歴史等の地域資源を活用した体験メニューや旅行商品の開発、インバウンド誘致に係る事業実施のほか、周遊タクシー運行事業、旅行ツアー送客支援事業、寺泊等推進事業などを実施します。

持続可能な流通体制の構築、新たな産業の創出や持続可能な企業経営のため、特産品の開発支援、ふるさと納税返礼品の取扱品目の拡大、地域商社を中心とした対馬物産の加工商品開発や販売促進の支援、島外で開催される物産展等のPRイベントへの参加助成、各種イベントと連動した対馬製品のPR、創業・事業拡大への支援、企業誘致などに係る事業を実施します。

3つ目の挑戦は、「地域主導の活動が進められている」、「福祉・医療体制が維持され、安心して暮らせる」、「暮らしのライフラインが維持されている」という将来像「支え合いで自立した島」を目指しての「つながりづくり」でございます。

国境の島である対馬において、人のつながりによって得られる文化・自然・歴史・地域の豊かさを追求した、対馬らしい持続可能な島づくりを目指して、国内外の多様な主体が交流・連携する仕組みや機会をつくるため、国境マラソン大会、日韓市民ビーチクリーンアップ、高校生を対象とした市内での韓国文化体験事業などを実施します。

高齢化が進む中で、全ての市民がいきいきと健康に、住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを目指すため、各種検診の実施や啓発のための情報発信、地域の組織・団体による健康づくり活動や講習会の各種支援や高齢者の買物支援、各種相談体制の充実などに係る事業を実施します。

生活インフラの維持と安全・安心なまちづくり、島内外の交通システムの利便性向上のため、道路・トンネル・橋梁の定期的な点検、長寿命化や改良整備、高機能消防指令システムの更新、消防OAシステムの構築、地域主体の防災・災害対策、路線バス維持の支援、コミュニティバスの運営支援、航空路・航路の路線維持などに係る事業を実施します。

4つ目の挑戦は、「豊かな自然環境が回復している」、「環境に負荷をかけない暮らしをしている」、「地域の資源をうまく活用している」という将来像「自然と暮らしが共存する島」を目指しての「ふるさとづくり」でございます。

里地里山の多様な生物との共生、海洋環境の保護により、豊かな自然の恵みを持続可能な形で享受できる地域づくりのため、国内希少野生動植物種であるツシマヤマネコ、ツシマウラボシシジミの保護対策、特定外来種ツマアカスズメバチ駆除対策、森林再生活動、生物多様性保全や磯焼け対策などに係る事業を実施します。

ごみの削減とリサイクル推進のため、漂流・漂着ごみの発生抑制対策、発泡スチロール等の利活用方法の検討、生ごみの分別と回収率向上対策、合併浄化槽の設置推進などに係る事業を実施します。

気候変動対策に貢献する環境負荷の低いエネルギーの地産地消を目指して、木質バイオマスの島内利用の推進に係る事業を実施します。

対馬を代表する歴史文化遺産を保存し、その価値を後世に継承していくため、お船江跡などの保存整備、宗家文庫史料等の保存・研究、ユネスコ無形文化遺産に登録された対馬の盆踊り保存活動への支援、対州馬の保存活用などに係る事業を実施します。

以上が、第2次対馬市総合計画に掲げる将来像への「4つの挑戦～対馬づくり～」に基づく各種事業でございます。

終わりに、対馬は、大陸に一番近い島であり、自然や文化にも大陸の影響を大きく残す宝の島でございます。昨年の2月からは、対馬市と釜山市を結ぶ国際航路が再開し、韓国人観光客も増加しております。

今後は、外国人観光客だけではなく、国内からの観光客や交流人口の拡大に向けて、身近にある島の宝をフル活用して、第2次対馬市総合計画に掲げる「みんなで目指そう！自立と循環の宝の島対馬」の実現に向け、市民協働のまちづくりに取り組んでまいります。

引き続き、市政に対します市民の皆様並びに議員各位の大いなる御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

○議長（初村 久藏君） 以上で、市長の施政方針説明を終わります。

暫時休憩いたします。再開を2時20分からいたします。

午後2時04分休憩

午後2時20分再開

○議長（初村 久藏君） 再開します。

日程第18. 議案第7号

○議長（初村 久藏君） 日程第18、議案第7号、令和6年度対馬市一般会計予算を議題とします。

提案理由の説明を求めます。総務部長、木寺裕也君。

○総務部長（木寺 裕也君） ただいま議題となりました議案第7号、令和6年度対馬市一般会計予算について、その提案理由と内容を御説明申し上げます。

予算の説明に先立ち、予算書と併せて、別途配付しております当初予算資料を御覧ください。

一般会計をはじめ、対馬市の各会計当初予算の概要を記載しております。

3ページの当初予算総括表に、対馬市各会計の令和6年度当初予算額、前年度当初予算額との比較並びに増減率を記載しております。

4ページに一般会計の歳入内訳比較表、5ページに歳出目的別内訳比較表、6ページに歳出性質別内訳比較表をそれぞれ記載しておりますので、御参照くださるようお願いいたします。

また、それと併せまして、歳出につきましては、別途参考資料を掲載しておりますので、後ほど御参照ください。

それでは、予算書3ページをお願いいたします。

令和6年度対馬市の一般会計予算は、次に定めるところによることを規定し、第1条第1項で、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ332億2,700万円と定め、第2項で、歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額を4ページから8ページにかけての「第1表 歳入歳出予算」によると定めております。

第2条で、地方自治法第212条第1項の規定による継続費の経費の総額及び年割額を、10ページ、11ページの「第2表 継続費」によると定めております。

第3条で、地方自治法第214条の規定により、債務を負担する行為をすることができる事項、期間及び限度額を、10ページ、11ページの「第3表 債務負担行為」によると定めております。

第4条で、地方自治法第230条第1項の規定により起こすことのできる地方債の起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法を、12ページ、13ページの「第4表 地方債」によると定めております。

第5条で、地方自治法第235条の3第2項の規定による一時借入金の借入限度額を80億円と、第6条で地方自治法第220条第2項ただし書の規定により歳出予算の各項の経費の金額を流用することができる場合を定めております。

4ページをお願いいたします。

第1表、歳入歳出予算についてでございますが、歳入及び歳出の款項の区分の金額については、

4ページから8ページの第1表、歳入歳出予算のとおりでございます。

10ページをお願いいたします。

第2表、継続費につきましては、防災行政情報伝達システム整備事業、巖原中学校大規模改造(特別教室)事業、市道浜久須富浦線道路災害復旧事業の継続費総額をそれぞれ13億6,781万6,000円、1億9,297万9,000円、3億9,300万円とし、期間及び年割額を定めております。

第3表、債務負担行為につきましては、情報通信基盤整備に係る映像伝送運営負担金、情報通信基盤整備に係る加入者専用設備構築費の債務負担の期間を、それぞれ令和6年度から令和15年度、令和6年度から令和17年度、限度額をそれぞれ4億2,060万円、19億2,410万円といたしております。

12ページをお願いいたします。

第4表、地方債につきましては、公共事業等債から臨時財政対策債まで、それぞれ限度額を定め、限度額合計を37億9,880万円といたしております。

それでは、14ページから記載します歳入歳出予算事項別明細書により、主なものを御説明いたします。

本年度の予算の状況は、合計欄に記載のとおり、332億2,700万円で、対前年度比5億6,000万円、1.7%の増でございます。

これは、この3月が市長の改選期に当たることから、骨格予算の考え方を基本として予算編成を行いました。それ以上に退職手当負担金や会計年度任用職員の勤勉手当の支給開始などの人件費の増額、塵芥処理施設の年次点検委託料や電算機器保守委託料の増、物価高騰や最低賃金の引上げに伴う各種委託料の増などによります物件費の増額、病院企業団負担金、林業者への輸送コスト助成事業補助金の増などによります補助費の増額や、市道尾浦浅藻線改良事業や防災行政情報伝達システム、巖原中学校大規模改造事業をはじめとする大型の継続事業に係る経費の増、衆議院小選挙区選出議員補欠選挙費などが大きな要因でございます。

まず、歳入でございますが、1款・市税は、29億3,698万4,000円、前年度比955万9,000円の増でございます。これは、固定資産税は減収の見込みとなっておりますが、市民税やたばこ税の伸びが大きく、併せまして、増収となる見込みでございます。

2款・地方譲与税から10款・地方特例交付金及び12款・交通安全対策特別交付金は、令和5年度の交付実績見込みや令和6年度地方財政計画等を基に計上いたしております。

11款・地方交付税は、国の地方財政計画におきましては、1.6%の増でございますが、令和5年度の交付実績や配分方法等が不確定であることを考慮して、対前年度比0.8%の増となる134億7,317万9,000円を計上しております。

内訳につきましては、普通交付税を対前年度比694万5,000円増の122億7,317万9,000円、特別交付税を対前年度比1億円増の12億円をそれぞれ計上しております。

13款・分担金及び負担金は、博物館管理運営負担金、養護老人ホーム入所負担金、保育所入所負担金など、1億3,802万4,000円を計上しております。

14款・使用料及び手数料は、各種公共施設の使用料、国際ターミナル使用料、公営住宅使用料、塵芥収集手数料など、4億489万5,000円を計上しております。

15款・国庫支出金は、45億1,169万8,000円の計上で、自立支援費負担金、施設型給付費負担金、生活保護費負担金、特定有人国境離島地域社会維持推進交付金、地方創生推進交付金、社会資本整備総合交付金、デジタル田園都市国家構想交付金などがございます。

16款・県支出金は、29億8,159万円の計上で、保険基盤安定等負担金、自立支援費負担金、特定有人国境離島地域社会維持推進交付金、地籍調査事業補助金、子ども・子育て支援交付金、海岸漂着物等地域対策推進事業補助金、有害鳥獣被害防止対策事業補助金、漁港整備事業補助金、離島漁業再生支援交付金、衆議院議員選挙費委託金などがございます。

17款・財産収入は、9,675万9,000円の計上で、土地・建物の貸付収入、立木売却収入などがございます。

18款・寄附金は、3億7,090万円の計上で、ふるさと納税寄附金などがございます。

19款・繰入金は、31億1,621万6,000円の計上で、主なものとして財政調整基金、減債基金、振興基金、がんばれ国境の島対馬ふるさと応援基金、合併振興基金などからの繰入れでございます。

22款・市債は、情報通信基盤整備、認定こども園建設、漁港整備事業、湯多里ランドつしま施設改修、市道改良、公営住宅建設、屋外拡声子局整備事業などの事業に充当するため、公共事業等債、辺地対策事業債、過疎対策事業債など、37億9,880万円を計上しております。

次に、歳出でございますが、16ページをお願いいたします。

1款・議会費は、議会活動費など、1億9,163万6,000円の計上で、前年度と比較し279万7,000円の増となっております。

2款・総務費は、42億6,223万7,000円の計上で、前年度と比較し157万7,000円の増となっております。増の主なものは、市制施行20周年記念事業経費や衆議院小選挙区選出議員補欠選挙、情報通信基盤整備事業における映像伝送路使用料及び映像設備使用料、対馬ブルーカレッジ運営事業、ふるさと納税に係る返礼品代や事務経費、移住定住支援補助金、がんばれ国境の島対馬ふるさと応援基金積立金、総合行政電算システム保守業務及び標準化対応支援業務などがございます。

3款・民生費は、66億4,737万円の計上で、前年度と比較しまして4億2,811万

9,000円の減となっております。これは、認定こども園整備事業の事業費の減や生活保護費などの扶助費が減となったことによるものでございます。

4款・衛生費は、45億6,735万4,000円の計上で、前年度と比較しまして3億4,377万4,000円の増となっております。これは、水道事業負担金や病院企業団負担金、診療所特別会計繰出金、塵芥処理施設・し尿処理施設の機械器具法令点検、保守点検委託料などが増となったことによるものでございます。

6款・農林水産業費は、36億5,880万4,000円の計上で、前年度と比較しまして5億7,839万円の増となっております。これは、有害鳥獣捕獲補助金が減となったものの、林道、作業道の整備、離島輸送コスト助成事業補助金、漁場・漁港整備費などが増となったことによるものでございます。

7款商工費は、9億1,342万1,000円の計上で、前年度と比較しまして9,937万5,000円の減となっております。これは、朝鮮通信史歴史館の駐車場整備や三宇田浜園地整備工事の改修事業費の減が主な要因でございます。

8款・土木費は、32億2,468万7,000円の計上で、前年度と比較しまして6億2,608万円の減となっております。これは、橋梁整備工事、雞知住宅建設事業費が増となったものの、巖原港国際ターミナル建設事業費、尾浦浅藻線道路改良工事費が減になったことによるものでございます。

9款・消防費は、17億2,222万5,000円の計上で、前年度と比較しまして4億7,036万7,000円の増となっております。これは、消防署支署建設事業費が減となったものの、高機能消防指令システムの更新、防災行政情報伝達システム整備工事費が増となったことによるものでございます。

10款・教育費は、30億2,723万3,000円の計上で、前年度と比較しまして2億6,676万円の増となっております。増の主なものは、大船越小学校トイレ洋式化工事、巖原中学校大規模改造工事、巖原中学校長寿命化改良工事、博物館運営費、峰地区公民館、対馬市公会堂非常用発電機更新工事、学校給食会委託料の増などが主なものでございます。

11款・災害復旧費は、9,600万円の計上で、前年度と比較しまして8,000万円の増となっております。市道浜久須富浦線道路災害復旧事業の増が主な要因でございます。

12款・公債費は、48億2,506万円の計上で、前年度と比較しまして3,269万9,000円の減となっております。

13款・諸支出金は、旅客定期航路事業特別会計繰出金として3,097万3,000円を計上し、14款・予備費は、6,000万円を計上しております。

なお、184ページから191ページにかけまして特別職及び一般職の給与費明細書を、また、

192ページから195ページにかけては継続費に関する調書を、196ページから201ページにかけては債務負担行為に関する調書を、202ページ、204ページに地方債に関する調書を掲げておりますので、御参照方お願いいたします。

以上で、令和6年度対馬市一般会計予算の説明を終わります。御審議の上、御決定賜りますよう、よろしくお願いいたします。

○議長（初村 久藏君） 説明が終わりました。

これから質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（初村 久藏君） 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

お諮りします。本件は、議長を除く全議員を委員とする予算審査特別委員会を設置し、これに付託して審査することにしたいと思っております。御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（初村 久藏君） 異議なしと認めます。本件は、議長を除く全議員を委員とする予算審査特別委員会を設置し、これに付託して審査することに決定しました。

正副委員長互選のため、予算審査特別委員会を議員控室に招集します。

暫時休憩します。

午後2時38分休憩

午後2時57分再開

○議長（初村 久藏君） 再開します。

報告します。予算審査特別委員会の委員長に黒田昭雄君、副委員長に作元義文君が決定しました。

なお、委員会の審査報告は3月27日に行います。

○議長（初村 久藏君） 以上で、本日の議事日程は全て終了しました。

明日は定刻から本会議を開き、議案説明等を行います。

本日はこれで散会といたします。お疲れさまでした。

午後2時58分散会